

# 学校だより

ゆめやかに花さけ  
We can do it

2・3月号

令和4年3月4日

横浜市立保土ヶ谷中学校

横浜市保土ヶ谷区釜台町3番1号 電話045-331-8521 <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/hodogaya/>

校長 窪田 智明

1年間はあるという間に過ぎ、目前に卒業式を迎えようとしています。今年度もコロナ感染防止のために、生徒たちには行事の中止や短縮など辛い思いをさせましたが、生徒たちの頑張りを軸に、保護者や地域の方々からのご理解ご協力により、安定した年度末を迎えられることに心より感謝申し上げます。

卒業生のみなさん

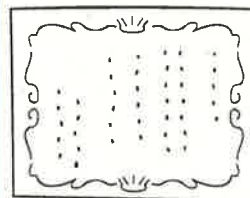
卒業おめでとうございます。

卒業という節目を大切にし、

次のステージを楽しんでください。

在校生のみなさんは

伝統を引き継ぎ進化しましょう！



今回の学校だよりでは、生徒、保護者、地域（学校運営協議会）の年度末学校評価の結果と振り返りをご報告させていただきます。年末のお忙しい中、多くの回答や意見をお寄せいただきありがとうございました。教育活動は、どんな時代でも子どもの成長と幸せを大切に考え、社会から期待されるニーズによって変容していきます。特に、社会全体が抱えるコロナ禍の対応やリモートなどのICTの進化は急激なスピードで変化しています。多くの意見に耳を傾け、状況や情報を分析し、できるだけ改善を図っていく必要性を感じています。

新しい年度に向け、更なる進化を遂げられるよう努めてまいります。引き続き、本校の教育活動に対してご理解ご協力をお願いいたします。

## 進級を前に思うこと

2学年主任 芥田 仁一

### 「陽緑隊（ようりょくたい）」

これは令和3年度の2年生の学年目標です。

ひとりひとりが明るく過ごし（陽）、学年全体を（緑）、みんなで協力して盛り上げていこう（隊）という願いが込められています。

昨年度の入学以来、「コロナ」以前の学校生活を知ることがないまま、とうとう中学校生活の3分の2を過ごすことになってしまいました。中学生を含めて年少者にも感染リスクが広がる中で、毎朝の健康観察、マスクの着用、手洗いの習慣、ソーシャルディスタンスの確保、自席で前を向いての黙食...たくさんの制約が強られる新生活様式を良く守り、たくさんのことをガマンしながらも、健気に学校生活を送るみなさんの姿を見てると、「えらいぞ、ありがとう、がんばってるね」と、全員の手を取り握手して回りたくありません。そして、今日より明日、明日より明後日、とにかく「この先」には絶対に明るい未来が広がっていると、祈らずにはられません。

みなさんが活躍する世界は、「この先」にあります。今のこのガマンがいつかきっと大きな糧となる日が必ず訪れますし、そもそも、みなさんはまだ、本気を出して（出せて）いないことも知っています。まだガマンの日々は続きそうですが、ウィズ・コロナ時代の中学生としてはベテラン最上級生として、持てる力を存分に発揮してください。これまで培った陽緑隊の光合成パワーで、保土ヶ谷中学校全体を盛り上げていきましょう！

## 1年生の目標「認め合う」

1学年主任 田口裕二

期待と不安が入り混じり、桜の花咲く校門をくぐったあの日から、もう1年が過ぎようとしていますね。皆さんにとって、どんな1年間だったのでしょうか？

私は10年以上保土ヶ谷中の1年生と出会ってきましたが、入学式の初日から生徒の皆さんの方から次々に爽やかな挨拶をしてくれたのは初めてでした。今年の1年生は何かが違うと感じた瞬間でした。

保土ヶ谷中学校の目標は「認め合う」「高め合う」「助け合う」です。4月、学年の出発時に1年生の目標は「お互いに認め合い楽しい1年間にしよう」と皆さんに伝えました。覚えていますか？コロナの影響で自然教室や合唱コンクールなど中止になってしまいましたが、学年行事では皆さんの一生懸命な姿や仲間を思いやる優しい態度が随所に見られ、お互いに認め合い楽しもうとしている姿勢を見ることができました。皆さんも感じることはできたのではないのでしょうか。生徒のみならず、1学年の先生たちも皆さんに認めてもらい、心豊かな1年間を過ごすことができました。ありがとうございます。

2年生では仲間を認め合いながら、次のステップ「高め合う」学年にしていきたいと思います。皆さんならきっとできると思います。期待しています。

## 「幸せは誰がきめている??」

副校長 石米 誠

北京オリンピックも終わり、はやいもので、もう年度末になりました。みなさんは、今年度どのような学校生活を過ごすことができましたか？

印象に残ったことは何でしょうか。明るいニュース、暗いニュースそれぞれ思い浮かべることがあるかもしれません。

その中でも、新型コロナウイルスについて考えた人は多いのではないのでしょうか。昨年度に引き続き新型コロナウイルスの影響は大きく、学校行事の中止や縮小、延期などがありました。できる事を常に考えていかななくてはならない状況や、部活動においても週当たりの活動日数や活動時間が制限されるような状況もありました。授業に関しても、接触時間を短くするために、短縮授業を行なうなど、今まで日常だった事がスムーズにいかない場面が多かったような気がします。そのような状況でも、保中生としてできる事を考えたり、活動できる場面で一生懸命取り組んだり、頼もしい姿を目にすることもありました。暗いニュースが連日流れるなかにも、何か明るい雰囲気や活気を感じました。そのような保中生がいたおかげで、学校全体としての雰囲気は決して暗くはなかったと思っています。

これからは、どのような状況でも自分で元気にしていく工夫が必要になってくるかもしれません。

私がシンプルながら好きなことばをひとつ紹介します。相田みつをさんのことばで

「しあわせは いつも じぶんのこころがきめる」

という有名なことばがあります。聞いたことがある人もたくさんいると思います。

さあ、みなさんはどのように感じますか？

文章のとおり「ああ、確かに幸せかどうかは自分で判断しているな」と気づく人もいると思います。そのままの解釈でも良いのですが、またそれとは逆に「不幸せも自分が判断している」事にも気づく人もいると思います。今回の学校行事でも縮小、延期があった時に「えー！行事が縮小された！」と捉えるか「縮小されたけど、できる事で精一杯楽しもう！」と捉えるか。同じ行事を行ったとしても気持ちの持ちようで差がありませんか？縮小された事を残念がってはいけません。ということではありません。同じ事をどうせやるなら、楽しんだ方が良いのではないのでしょうか。

この考え方を私は大切にしています。さあ、今幸せですか？幸せは誰が決めていますか???

## 卒業に向けて

3学年主任 松浦 里香

3年生は今、特別時間割の中で、卒業式の練習、スポーツ大会、外部講師による救命救急講座や認知症サポーター養成講座を受け、多くのことを学んでいます。

卒業に向かって慌ただしい毎日の中で、中学校生活3年間を振り返り自分自身の成長や、自分を支えてくれた人への感謝の気持ちを見つめてほしいです。当たり前前が当たり前前できなくなってしまった2年間を過ごしてきた3年だからこそ、何事も当たり前と思わず、ありがたい！と感謝の気持ちをもっているのではないのでしょうか？

「ありがとう」の語源はめったになく貴重であるという意味をもった「ありがたい」からきているようです。

最後の行事である卒業式でも一人ひとり名前を呼ばれ、返事をして証書を受け取ります。今まで当たり前前やっていたことのひとつですが、卒業式での当たり前前ではなくなってしまいました。改めて考えると人生の中でめったにない貴重な機会です。立派にやり遂げ心晴れやかに卒業していきましょう。

# 輝く保中生

## 【野球部】

横浜クラブ（横浜市選抜チーム）に2年連続で選手選出  
 保土ヶ谷区中学校夏季野球大会 優勝  
 保土ヶ谷区中学校秋季野球大会 優勝

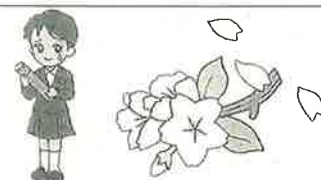


## 【書き初め】

第50回 新春子ども書き初め展 防犯協会会長賞受賞 1年 魏 千絢

# 3月予定表

☆ スクールカウンセラーの渡辺 静さん来校日  
 相談室直通 045-331-8594 (来校日に通じます。)



日	曜	行事など	日	曜	行事など
1	火	3年公立共通選抜 合格発表	17	木	
2	水		18	金	3年公立定通分割選抜 合格発表
3	木	専門・特別委員会 13:45～ 3年公立定通分割選抜 出願	19	土	
4	金	全校評議会 13:50～ 3年公立定通分割選抜 出願	20	日	
5	土		21	月	春分の日
6	日		22	火	再登校 15:00
7	月	朝会（3年生を送る会） 3年公立定通分割選抜 志願変更	23	水	
8	火	午後：卒業証書授与式 準備 3年連絡票配布 3年公立定通分割選抜 志願変更	24	木	
9	水	第75回 卒業証書授与式	25	金	修了式・離任式 完全下校 11:00
10	木	1・2年スポーツ大会	26	土	学年末休業
11	金	1・2年スポーツ大会予備日(2年AM・1年PM) 3年公立定通分割選抜(学力・面接・特色)	27	日	
12	土		28	月	
13	日		29	火	
14	月	個別支援学級個人面談(18日まで) 昼食後下校 3年公立定通分割選抜(面接・特色)	30	水	
15	火		31	木	
16	水	完全下校 13:50	※予定は変更になる場合があります。		